

World News

ロケット関連ニュース

1. Ariane 5G 12号機 Optus 及び BSAT-2c のデュアルロンチに成功

Ariane 5 12号機は6月11日、オーストラリアと日本の静止通信衛星のデュアルロンチに成功した。フライト161の打上げロケットは仏領ギアナの射場から日本の放送衛星 BSAT-2c 及び Optus and Defence C1 を打上げた。Optus and Defence C1 衛星は、打上げ約28分でロケットから切り離され、その後、7分後に BSAT-2c が切れ離された。Optus and Defence C1 は主契約者の日本の三菱電機と副契約者の米国の SS/L 社及び Raytheon によって設計製造された。衛星はマレーシア上空の東経 156 の静止軌道に配置され、オーストラリア、ニュージーランド、東アジア及びハワイにオーストラリアの通信業者 OPTUS による通信サービスを予定している。衛星はオーストラリア国防総省の UHF、X-Band、Ka-band の専用回線も供給する。衛星打上げ重量は約 4725 kg、寿命は 15 年、Optus and Defence C1 は、Ariane によって打上げられた2番目のオーストラリアの衛星であり、1987年9月の Aussat K3 衛星に続く衛星である。

BSAT-2c 衛星は、米国 Orbital Sciences Corporation によって製造された。衛星は株式会社放送衛星システム (B-SAT) のための衛星で、軌道上重量は 1,275Kg である。衛星は、ボルネオ島上空の 110 deg. の静止軌道から直接デジタル・テレビ同報リンクを提供する。衛星寿命は 10 年である。

BSAT-2c は Ariane によって打上げられた日本の19番目の衛星で Orbital 社の5番目の衛星となった。



Ariane 5 12号ロケット Ariane 提供
- Ariane 2003.6.11 プレスリリース記事 -

2 . ILS Proton、AMC-9 衛星打上げ成功

2003年6月6日、Proton の300回目の打上げは Alcatel スペースと SES AMERICOM の AMC-9 衛星を軌道に乗せる事に成功した。打上げは、米国-ロシアの国際合弁事業会社 International Launch Service (ILS) により実施された。これは、38年のロシア連邦での実績および ILS での商用フライトに転向してから7年目の ILS が担当する初めての打上げとなった。今日の機体は、Breeze M upper stage を使用した Proton で、現地時間午前4時15分(6月6日22時15分のグリニッチ標準時、6月6日午後6時15分 EDT)

に Baikonur 宇宙ロケット発射基地から打上げられた。8 時間 55 分後に、AMC-9 衛星は Breeze M から切り離され、地球静止軌道にある転送軌道に配置された。衛星は Alcatel カンヌ工場で製造され、契約は軌道上渡しである。

これは SES GLOBAL ファミリー会社 "SES AMERICOM、その前任者 GE AMERICOM、SES ASTRA、および AsiaSat" の衛星で ILS のとして 14 番目の打ち上げとなった。さらに、今後、ILS によって 3 機の AMC 衛星を 2003-04 年に Proton 又は Atras ロケットで打上げることが予定されている。また、未確認ではあるが最近 4 番目の AMC 衛星打上げ契約を取得したとの情報もある。AMC-9 は、48 のトランスポンダを搭載、衛星バスは Spacebus 3000B3 モデルである。衛星は北米地域でデジタルテレビ同報サービス及び通信サービスを提供する予定である。



Proton AMC-9 打上げ ILS 提供
- ILS 2003.6.6 プレスリリース記事 -

衛星関連ニュース

1. 放送衛星 BSAT-2c 打上げ成功

BS デジタル放送用の放送衛星 BSAT-2c が、平成 15 年 6 月 12 日午前 7 時 38 分 15 秒(現地時間 11 日午後 7 時 38 分 15 秒)、南米仏領ギアナ・クールーにある射場で Ariane 5 でオーストラリアの Optus and Defence C1 衛星との Dual Launch で打上げられました。

BSAT-2c は、現在 BS デジタル放送に使用されている放送衛星 BSAT-2a の予備



BSAT-2c Orbital 社 提供

衛星で、2001 年に打上げた BSAT-2b が予定の軌道に乗らなかったため、新しく調達したもので、これにより BSAT-2 衛星の 2 機体制が整うことになった。

BSAT-2c は米国 Orbital Sciences Corporation 社で製造され放送チャンネル数 4 (1ch、3ch、13ch、15ch) で食時も放送可能、周波数 上り：17GHz 帯 / 下り：12GHz 帯、送信出力 120W 送信機冗長系 予備中継器 4 本を含め計 8 本の中継器を搭載している。軌道上重量は初期 約 750kg、設計寿命 10 年である。

- B-SAT 社 2003.6.12 プレスリリース記事 -

2. Optus C1 打上げ成功

2003年6月12日、Optus C1 衛星が Ariane 5 Dual Launch で打上げられた。オーストラリアドルで 500 M ドルの衛星は Optus 社とオーストラリア国防総省からの出資で、これまでの同国の衛星では最も大きな通信および軍用のハイブリッド衛星である。C1 衛星のペイロードの 50 パーセントは、国防総省に割り当てられる。また、商用衛星放送、高速性インターネット、音声、およびデータ通信サービスはオーストラリア、およびアジア地域をカバーする。

Optus は、Optus 及び SingTel の合同所有衛星で、現在その顧客は 25 以上の国に及んでいる。

C1 衛星は東経 156 度の静止軌道に配置される。衛星は、24 本の Ku バンドトランスポンダでオーストラリア、ニュージーランド、および東アジアをカバーする。衛星寿命は 15 年である。衛星管制は Optus のシドニーアースステーションから行われる。C1 衛星は Optus の衛星群の 4 番目の衛星になる。

Optus 2003.6.12 プレスリリース記事



Optus C1 衛星 Optus 社 提供